

直結給水方式の拡大について

安全で新鮮な水を供給しませんか

マンションなどの集合住宅やビル等への給水は、これまで貯水槽（受水槽）を経て供給していましたが、配水管の水圧で直接給水（直結給水といいます）することが可能となりました。

不衛生になりがちな貯水槽の問題を解決し、安全で新鮮な水が利用できる直結給水を考えてみませんか

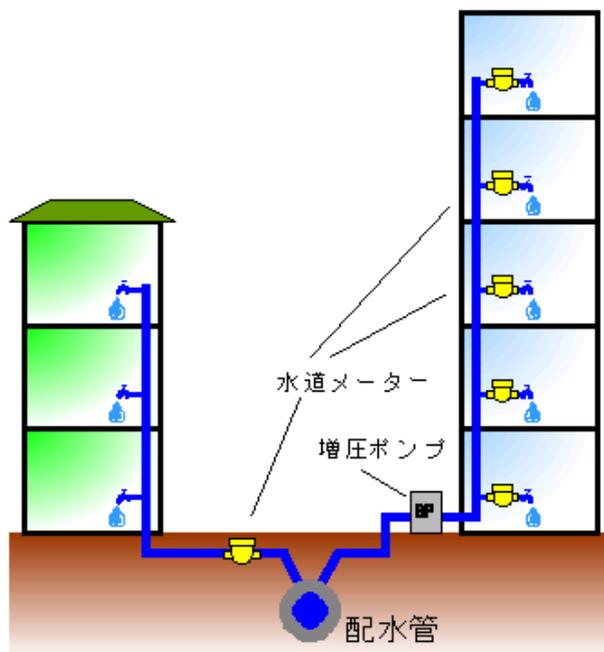
給水方式の分類

建物への給水方式は次のように分類できます。

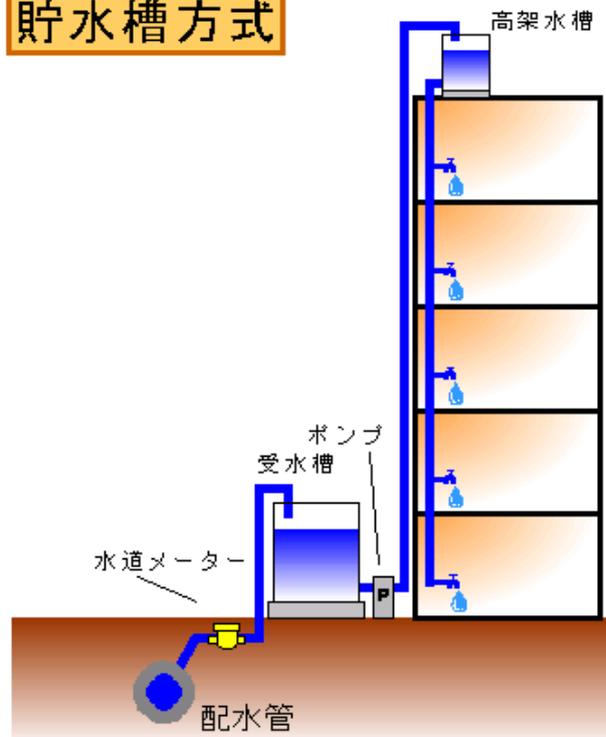
直結方式	→	直結直圧方式	→	2階建てまでの建物
	→		3～4階建てまでの建物	
	→	直結増圧方式	→	10階50戸程度までの建物

貯水槽方式	→ → → → → →	多量の水を使用する建物や、病院等の断水時にも給水を必要とする建物
-------	-------------	----------------------------------

直結方式



貯水槽方式



●直結直圧方式とは？

…配水管の水圧で直接給水する方式。

●直結増圧方式とは？

…配水管から引き込まれた給水管に増圧ポンプ（ブースターポンプ）を直結し、給水管内の水圧を増圧して、直結給水する方式

■直結直圧・直結増圧方式の適用範囲

直結直圧方式や直結増圧方式に切り替えるには、配水管の口径及び水圧調査のうえ、下記の主な条件を満たしていることが必要です。（条件は下記以外にもあります）

直結直圧方式	直結増圧方式
<ul style="list-style-type: none"> ●建物の階数は3～4階で、戸数はファミリータイプで12戸、ワンルームタイプで24戸以下 ●配水管からの給水管への取り出し口径が50mm以下 ●最上階への給水栓（蛇口）の高さが15m以下 ●商業ビル・店舗などの1日最大給水量が12立方メートル以下など 	<ul style="list-style-type: none"> ●建物の階数は10階程度で、50戸程度まで ●配水管からの給水管への取り出し口径が50mm以下 ●増圧ポンプを設置 ●非常用直圧共同水栓を1箇所以上設置など

■メリット・デメリット

病院、学校、ホテル、工場、大型飲食店など一時に大量の水を必要とする施設や、災害や緊急時にも給水を必要とする施設は、貯水槽方式にしなければなりません。

直結方式、貯水槽方式ともにメリットとデメリットがありますので、その建物に適した給水方式を選びましょう。

	直結方式	貯水槽方式
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ●配水管の水が、直接蛇口まで供給されるため、水が新鮮です。 ●水槽の清掃・点検にかかる費用が不要となります。 ●水槽を設置するスペースが不要となり、その土地を有効利用できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害・緊急時等に配水管が断水になった場合でも、タンクに貯留されている水を利用できます。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ●災害・緊急時等に配水管が断水になった場合、すぐに断水になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水槽が不衛生な場合、安全な水が供給されないおそれがあります。 ●水槽の清掃・点検費用がかかります。 ●水槽設置のためのスペースが必要になります。

■貯水槽方式からの改造

直結給水方式への改造が可能です。貯水槽施設の改造をお考えの際は、直結給水方式に移行されることをおすすめします。ただし、施設の設置場所により配水管の水圧などが異なりますので事前の協議が必要です。上下水道事業所または天童市指定給水装置工事事業者にご相談ください

■工事費用、維持管理

給水装置はお客様の財産です。工事費用及び維持管理にかかる費用は、すべてお客様のご負担となります。

■工事着手までには

配水管の水圧を確認した後、協議を行い、適用条件を満たしているものについて許可となります。詳しく上下水道課給排水係担当までお問い合わせ下さい。